組立・施工説明書 リアルポートⅢ ジャンボタイプ

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
組立・施工の後で…
取扱説明書をお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、＜　　＞で同梱先を表示しています。

チェックシート

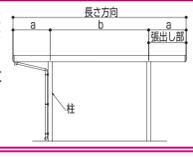
組立・施工時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	基礎寸法	
❷	シーリング	
❸	柱の間隔・垂直・対角・後枠の水勾配	
❹	側枠・垂木取付ねじの締付け	
❺	柱の水抜き穴	
❻	屋根材ののみ込み	
❼	屋根材押えの押しあて	
❽	屋根材押え取付ねじの締付け	

注　意

●このカーポートは積雪～ 20cm 地域用｛積載荷重 600N/m²（61.2kgf/m²)｝です。
積雪量が 20cm を超える前に雪おろしをすることを施主様に確認してください。商品が破損するおそれがあります。
※雪おろしの目安は、積雪 1cm 当たり 30N/m² で計算しています。
湿った雪の場合等は、1cm 当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
●カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
●屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4 ～ 7 日の養生期間が必要です。
●脚立を使用する際は、天板の上に乗ること、またがること、座ることが禁止されています。
脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。

注　意

長さ方向張出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。

シーリングは必ず実施してください！

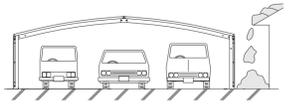
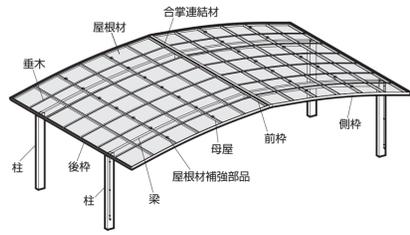
●「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
●ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）

シーリングマーク

お願い

●屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようにご配慮ください。（図参照）
●みだりに改造や変更はしないでください。
●基礎コンクリートには**塩素系の混和剤（急結剤等）や海砂を使用しない**でください。
柱の腐食の原因となります。
●屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。
太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
●凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、
柱に水抜き穴をあけてください。
●組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
●ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因になります。
●カーポートの上に乗らないでください。カーポートにはしごをかけないでください。
カーポートの破損だけでなく落下事故の原因になります。
●部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。

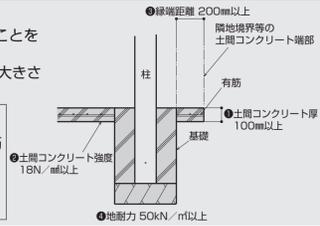
全体構成図

合掌連結材　屋根材　垂木　側枠　前枠　母屋　柱　後枠　屋根材補強部品　梁

寸法図（単位：mm）

土間コンクリート考慮基礎条件

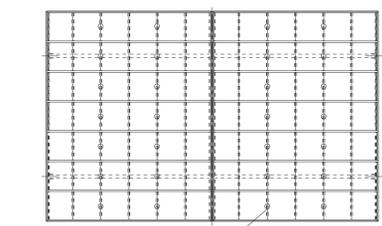
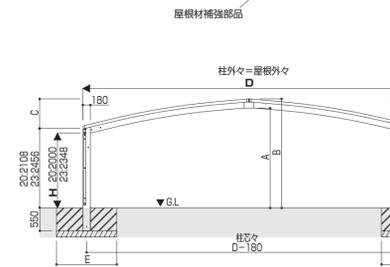
本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

基礎条件
❶土間コンクリート厚　：100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度：18N／㎟以上
❸縁端距離　　　　　　：200㎜以上
❹地耐力　　　　　　　：50KN／㎡以上

❸縁端距離 200㎜以上　隣地境界等の土間コンクリート端部　柱　有筋　❶土間コンクリート厚 100㎜以上　基礎　❷土間コンクリート強度 18N／㎟以上　❹地耐力 50kN／㎡以上

※柱の移動は、向かい合う一対の柱で行ってください。

お願い

屋根の長さ方向に水勾配 $\frac{2\sim4}{1000}$ mmをつけてください。
雨樋側の柱高さを6～14mm低くすると、$\frac{2\sim4}{1000}$ mmの水勾配になります。
逆勾配は雨漏り・雨溜まりの原因になります。

■基本セット

呼称	柱外々 D	柱芯々 D−180	H	A	B	C
D72	7200	7020	2000	2534	2757	649
			2348	2882	3105	
D80	8000	7820	2000	2599	2822	714
			2348	2947	3170	

●土間コンクリート考慮基礎の場合
※採用条件については、**土間コンクリート考慮基礎条件**を参照

カーポートサイズ	全サイズ
基礎寸法 E×F	600×600

※側面パネル付の場合も同寸法です。

●側面図　L50（4本柱）

●独立基礎の場合

カーポートサイズ	全サイズ
基礎寸法 E×F	1110×1110

※側面パネル付の場合も同寸法です。

●側面図　L57（6本柱）

■基本 +延長セット

2~4　1000　水勾配
Lt=L+Lj= 6484
20　L−40= 5012　Lj=1432　20
716　716　716
1076　2900　1772　736
100　100　柱移動範囲
F
端柱　端柱　端柱

同梱一覧

■柱ユニット　HCD-(DS)TA##N-1#

	部材	部品	
姿図	—		
部材・部品名	柱	たて樋	呼び樋
品番		K-34805	K-34805
HCD-(DS)TA20N-1T	1	1 (L=1950)	1 (L=1300)
HCD-(DS)TA23N-1T	1	1 (L=2300)	1 (L=1300)
HCD-(DS)TA20N-1	1	—	—
HCD-(DS)TA23N-1	1	—	—

■梁ユニット　HCD-(DS)TB##N-1

部材名	梁
品番	—
個数	1

■側枠ユニット HCD-(DS)TC##

	部材		部品							
姿図	—	—								
部材・部品名	側枠	屋根材押え	パッキン	前枠キャップ	前枠キャップ	後枠キャップ	後枠キャップ	ドレン	穴隠し	合掌材キャップ
品番	—	—	3K-21853	2K-38151	2K-38152	2K-39039	2K-39040	2K-31200	K-36937	2K-38161
備考		（側枠用）								
個数	4	4	4	2	2	2	2	2	2	2

■前後枠・合掌材ユニット HCD-(DS)TD##

部材名	前枠	後枠	合掌連結材
品番	—	—	—
個数	2	2	1

■母屋ユニット HCD-(DS)TL##

部材名	母屋
品番	—
個数	5

■垂木ユニット　HCD-(DS)TE####
■連棟垂木ユニット（延長セット用）　HCD-(DS)TEJ14##

部材名	垂木	屋根材押え	連棟垂木
品番	—	—	—
備考		（垂木用）	
HCD-(DS)TE51##	6	6	—
HCD-(DS)TE##	7	7	—
HCD-(DS)TEJ14##	2	4	2

■部品ユニット　HCD-(DS)TG#

姿図										
部品名	柱アンカー	柱カバー	合掌材ブラケット	梁連結材	雨樋セット	座金組込六角ボルト (M8×25)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×25)	穴塞ぎシール (φ14)	屋根材補強部品
品番	K-11711	4K-17640	3K-19541	4K-17919	EA-E1	2K-17611	ET-5010	ET-5025	K-40433	5K-15483
備考						柱・梁取付用		合掌材・キャップ取付用	柱移動用	
HCD-(DS)TG4	4	4	4	2	2	32	412	6	28	28
HCD-(DS)TG2	2	2	—	1	—	16	72	—	—	4

姿図					—
部品名	六角ボルト (M8×105)	六角袋ナット (M8)	波形スプリングワッシャ (M8用)	ワッシャ (M8用)	組立・施工説明書
品番	SBH-M08105	FN-M08	2K-16324	W-08	—
備考	梁連結材取付用	梁連結材取付用	梁連結材取付用	梁連結材取付用	
HCD-(DS)TG4	8	8	16	16	1
HCD-(DS)TG2	4	4	8	8	—

■ジョイント材　CCD-(DS)TGA

姿図	
部品名	ジョイント材
品番	5K-16557
個数	1

■前後枠・母屋・合掌材ユニット　HCD-(DS)TD14

	部材				部品			
姿図	—	—	—	—				
部材・部品名	前枠	後枠	母屋	合掌連結材	前枠連結材	後枠連結材	後枠連結金具	母屋連結材
品番	—	—	—	—	3K-19543	4K-17641	4K-17642	4K-16287
個数	2	2	10	1	2	2	2	10

	部品						
姿図							
部材・部品名	合掌材ブラケット	雨樋セット	ドレン	穴隠し	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×25)	屋根材補強部品
品番	3K-19541	EA-E1	2K-31200	K-36937	ET-5010	ET-5025	5K-15483
個数	2	2	2	2	142	2	4

■屋根材ユニット（厚さ： 1.8㎜）

ユニット記号	サイズ		数量
	長さ	幅	
CCD-(DS)TF36-2＊#	3591	700	2
CCD-(DS)TF40-2＊#	3995	700	2

末尾の＊♯は屋根材の種類を表わします。

組立・施工要領

1.基礎の施工　**寸法図**をご覧ください。

お願い

●地盤のゆるいところでは、さらに大きくしてください。
●割栗石、砂利または砕石を敷き均し、突固めてください。

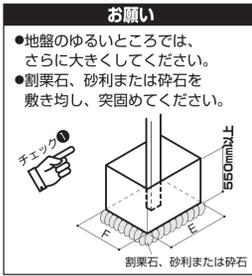
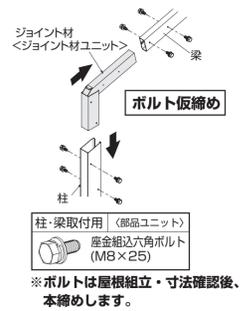
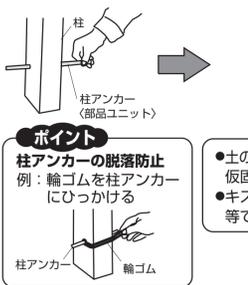
2.柱・梁の組立

❶柱・ジョイント材・梁を組立ててください。

柱・梁取付用	〈部品ユニット〉
座金組込六角ボルト (M8×25)	

※ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

❷柱にアンカーを取付けてください。

ポイント
柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーにひっかける
柱アンカー　輪ゴム

●土のう袋、木片等を利用して柱を仮固定してください。
●キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

柱を移動した場合
●前枠・後枠・母屋を梁位置に合わせて穴をあけてください。
●既存の加工穴には穴塞ぎシール〈部品ユニット〉を貼ってください。

3.後枠の取付　※長さ切詰めする場合は、**長さ切詰めする場合**を参照

❶後枠の水下側に、水抜き穴をあけてください。

❷後枠にパッキンを取付けてください。

ポイント
後枠ヒレにパッキンを突きあててください。

シーリング
パッキンのまわりをシーリング

❸後枠にドレン・穴隠しを取付けてください。

ドレン・穴隠し取付用	〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ (φ5×10)	

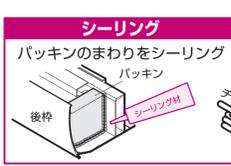
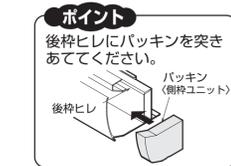
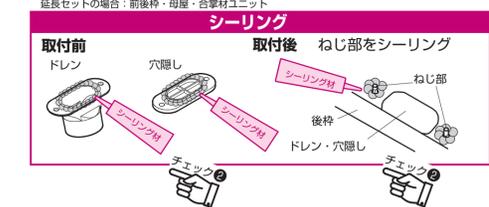
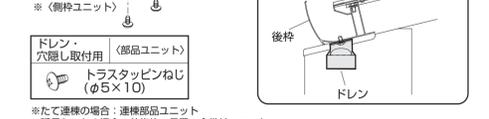
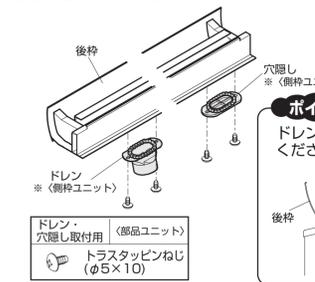
ポイント
ドレンの向きに注意してください。

※たて連棟の場合：連棟部品ユニット
延長セットの場合：前後枠・母屋・合掌材ユニット

シーリング

❹柱に柱カバーをのせ、後枠と一緒に取付けてください。

柱カバー〈部品ユニット〉　後枠

後枠取付用	〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ (φ5×10)	

長さ切詰めする場合

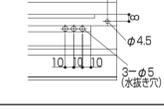
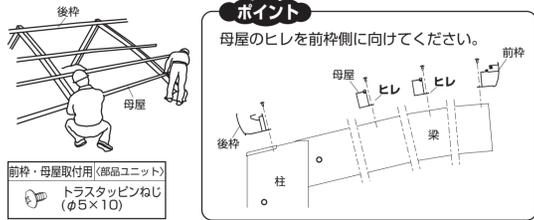
切詰め側に左右同様の切欠き加工をしてください。
後枠は加工が異なるため、下記を参照してください。

お願い
必ず水抜き穴をあけてください。
雨水が排水されず、雨漏りの原因になります。

組立・施工要領

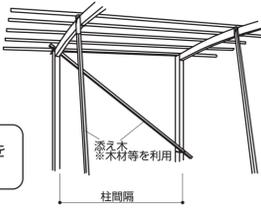
4.前枠・母屋の取付

ポイント
母屋のヒレを前枠側に向けてください。

前枠・母屋取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

5.本体の立上げ・仮固定、寸法確認 ・調整

❶柱の間隔・垂直
❷屋根の直角
❸後枠（長さ方向）の水勾配
※雨樋取付側が水下側

ポイント
寸法が出ていない場合は、部材を動かして調整してください。

添え木 ※木材等を利用
柱間隔

6.梁の連結・合掌部の組立

❶梁連結材を取付け、梁を連結してください。
（部品は部品ユニットに入っています。）

梁連結材取付用〈部品ユニット〉
六角ボルト（φ8×105）
波形スプリングワッシャ（M8用）
ワッシャ（M8用）
六角袋ナット（M8）

❷合掌部を組立ててください。

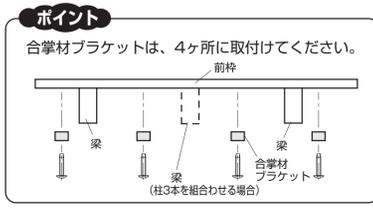
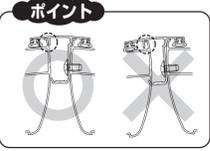
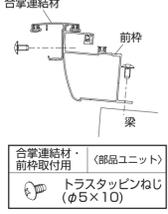
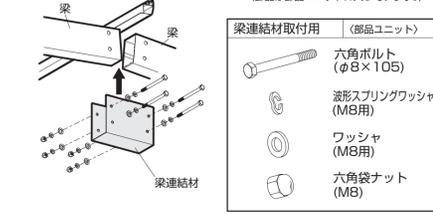
合掌連結材・前枠取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

❸合掌材ブラケットを取付けてください。

ポイント
合掌材ブラケットは、4ヶ所に取付けてください。
梁（柱3本を組合わせる場合）

合掌材ブラケット取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×25）

7.残り片側の後枠の取付

「3.後枠の取付」を参照してください。

8.寸法確認・調整

❶柱の間隔・垂直・対角
❷後枠（長さ方向）の水勾配
※雨樋取付側が水下側

■柱の対角寸法
（寸法は調整用の目安）

呼称	対角寸法
5072	7388
5080	8135
5772	7097
5780	7871

●L50（4本柱）　●L57（6本柱）

ポイント
寸法がでていない場合は、部材を動かして調整してください。

9.残り片側の母屋の取付

「4.前枠・母屋の取付」を参照してください。

10.側枠・垂木の取付

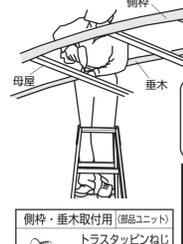
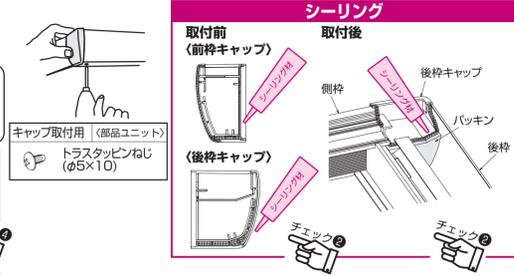
ポイント
前枠側 ➡ 後枠側 ➡ 母屋部の順でねじ止めすると、穴位置が合わせやすくなります。

お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。
ねじ浮き　斜め取付

側枠・垂木取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

前枠・後枠キャップを取付けてください。

キャップ取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

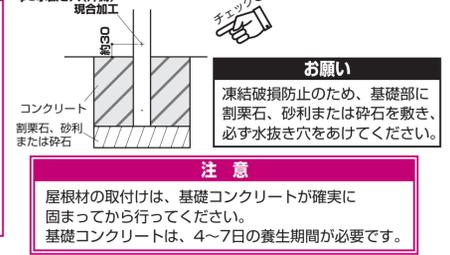
シーリング
取付前（前枠キャップ）　取付後
（後枠キャップ）
側枠　後枠キャップ　パッキン　後枠

11.柱・梁取付ボルトの本締め

❶再度寸法を確認してください。
❷柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

12.基礎コンクリートの打込み

φ5水抜き穴（片側）現合加工
約30
コンクリート
割栗石、砂利または砕石

お願い
凍結破損防止のため、基礎コンクリートに割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

注 意
屋根材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4〜7日の養生期間が必要です。

13.屋根材・屋根材押えの取付

取付け前に、屋根材の養生フィルムをはがしてください。

屋根材の取付

ポイント
後枠の奥に**あたるまで**押込んでください。
後枠側 差込み順❷　前枠側 差込み順❶

お願い
屋根材ののみ込みAが左右同じになるように調整してください。
片方ののみ込みが浅いと、耐荷重性能低下の原因となります。

屋根材押えの取付

ポイント
●前枠に押しあてる
●ねじ止めは、前枠側から順に行う

お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。
ねじ浮き　斜め取付

●屋根材補強部品は、後枠より2本目と4本目の母屋に取付けてください。
●母屋のケガキ溝に合わせ屋根材のみにφ10の穴をあけて取付けてください。
屋根材補強部品〈部品ユニット〉
φ10の穴をあける（屋根材のみ）
ケガキ溝

屋根材押え取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

合掌材キャップの取付

キャップ取付後、シーリングしてください。

合掌材キャップ（側枠ユニット）

シーリング
合掌材キャップにシーリング材を充てんし、取付けてください。

合掌材キャップ取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×25）

14.雨樋の取付

（たて樋・呼び樋以外の部品（雨樋セット）は、部品ユニットに入っています。）

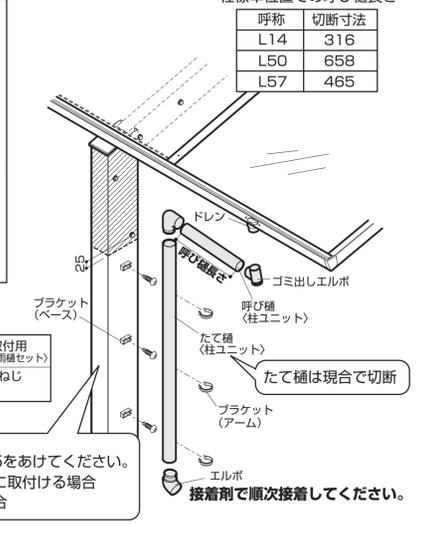
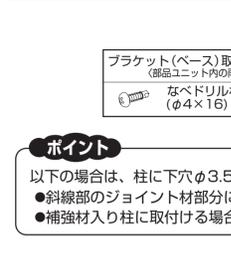
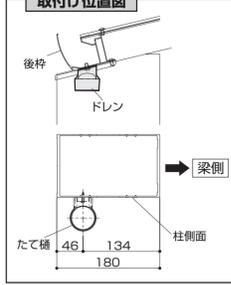
取付け位置図
後枠　ドレン　梁側　たて樋　46　134　180　柱側面

柱標準位置での呼び樋長さ

呼称	切断寸法
L14	316
L50	658
L57	465

ドレン　ゴミ出しエルボ　呼び樋（柱ユニット）　たて樋（柱ユニット）　ブラケット（ベース）　ブラケット（アーム）　エルボ
たて樋は現合で切断
接着剤で順次接着してください。

ブラケット（ベース）取付用（部品ユニット内の雨樋セット）
なべドリルねじ（φ4×16）

ポイント
以下の場合は、柱に下穴φ3.5をあけてください。
●斜線部のジョイント材部分に取付ける場合
●補強材入り柱に取付ける場合

延長セットの場合

1.部材の加工

前枠・後枠・母屋の連結部に穴加工（φ6）を行ってください。

	形材断面図	加 工 内 容
前枠	9	φ6 67 ／ φ6 67
前枠	8	2−φ6 60 7 7 60 ／ 2−φ6
後枠	51	φ6 67 ／ φ6 67
後枠	11.2 31.2	2−φ6 60 7 7 60 ／ 2−φ6
母屋	15	2−φ6 60 7 7 60 ／ 2−φ6
合掌材	11.7	連結側 2−φ6 52.5 ／ 端部側 46.5

2.組立

（部品は前後枠・母屋・合掌材ユニットに入っています。）

1 前枠・母屋・後枠の連結

前枠部　前後枠連結材
母屋部　母屋連結材
後枠部　後枠連結金具　後枠連結材

前枠・母屋・後枠連結用〈前後枠・母屋・合掌材ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）
※基本セットの部品ユニットにも入っています。

シーリング
後枠を組立後、接合部にシーリングしてください。

2 連棟垂木の取付

連棟垂木取付用〈前後枠・母屋・合掌材ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）
※基本セット側の部品ユニットにも入っています。

お願い
ねじは確実に締付けてください。雨漏りの原因になります。
ねじ浮き　斜め取付

3 前枠接合部のシーリング

前枠と屋根材押え部は ⌐ 字型にシーリングをしてください。

4 合掌材の取付

シーリング
延長セットの場合、前枠と合掌材の連結位置がずれます。
延長セット側の合掌材を本体セット側へ押し込み、接合部のシーリングを確実にしてください。

<延長セット側>
<基本セット側>

5 合掌材キャップ・合掌材ブラケットの取付

ポイント
連棟部には合掌材キャップは取付けません。
キャップ取付用穴は取付ねじ（φ5×10）で塞いでください。

合掌キャップ　合掌材　連棟部　合掌材ブラケット
トラスタッピンねじ（φ5×25）
ねじ（φ5×10）で穴を塞ぐ